地域とのコミュニケーション情報発信紙

敬老園便り

第48号
令和7年
7月1日発行

【編集・発行】敬老園本部／〒386-0027 長野県上田市常磐城2256-1 2F　TEL.0268-28-1170（代）



夏の日差しが眩しい季節
どうぞ涼やかに
心穏やかにお過ごしください。

（写真は菅平高原の唐沢の滝）

設立
1973年
（昭和48年）
5月

敬老園の理念

少子高齢化の進展に伴う様々な問題に、地域に根ざした社会福祉法人として三つの理念を掲げ、役職員が一丸となり社会貢献を致します。

- 敬老園は人間の尊厳を大切にし、柔軟な心をもってあらゆる可能性のある質の良い介護を目指します。
- 敬老園は公平公正な施設運営を旨とし、変化する時代を的確にとらえ社会に貢献する健全な経営を目指します。
- 敬老園は心と心の結びつきを基本とし、取り巻く全ての関係を誠意と熱意をもって構築することを目指します。



敬老園
Photo News



令和7年度
新人職員・特定技能合同辞令交付式

令和7年4月1日（火）、法人本部（上田市常磐城2256-1）5階講堂にて、令和７年度新人職員・特定技能職員の合同辞令交付式を開催し、新規学卒者13名、特定技能職員7名の計20名を迎えました。

斎藤理事長は通訳を交えながら「役職員一同心から歓迎しています。分からないことや困ったことがあれば遠慮なく聞いてください。今日集まった皆さんは大切な同期であり、お互い助け合い支え合う存在です。」と激励しました。

新規学卒者と特定技能職員の合同辞令交付式は法人にとっても初の試みとなりました。新規学卒者は「スーツ」、特定技能職員はインドネシアの正装である「バティック」を着用し、お互いの文化を尊重した式となり、時代の変化を感じつつも、次世代への新たな一歩となりました。





新規学卒者 配属前研修

法人として必須の研修です。学生から社会人への意識改革、責任ある行動習慣を身につけることを目的とした事前学習期間となります。研修の様子をご紹介します。

令和７年度
入職者数
新規学卒者 …13名
特定技能職員…7名
合計20名

チームワークゲーム

同期の仲間達とゲームを通じて交流。
緊張がほぐれる時間となりました。



ビジネスマナー研修

社会人としてのマナーを学びました。
当たり前だけれども、一つ一つ丁寧に。





法人の理念

社会福祉法人敬老園の職員として、
法人理念の理解を深めました。
理念の下、日々業務に臨みます。



健康管理の重要性



職種別研修



グループワーク研修の振り返り

新人研修の振り返りより

健康

自分の体と向き合う
人間関係をよくする
身体的・精神的・社会的健康
感染対策／睡眠／食事

社会人としてのマナー

挨拶／身だしなみ
敬語／報・連・相／笑顔

心がまえ

同期と比べない。比べるのは昨日の自分
反省と後悔にとらわれすぎない
相手の気持ちを理解する





News その2

法人全体会議

令和7年3月31日、社会福祉法人敬老園「法人全体会議」を執り行いました。次年度に向けた法人の方針としての「理事長訓示」と法人を支えてくれている職員へ感謝の気持ちを込めた「永年勤続表彰」を行う大切な会議です。



令和７年度に向けた理事長訓示

令和６年度を振り返ると、外部環境に大きく左右される年となりました。食料品や生活用品・ガソリン代等の価格高騰により私たちの暮らしや法人運営に年間を通じて大きく影響を及ぼしました。また、他産業も同様ですが生産年齢人口減少に伴う人材不足が大きな課題となっています。次年度以降の取り組みとして、「不安定な状況が長期化している外部環境に対応する為、収入の安定化及び経費に対する意識を高く持つこと」、「人材確保の取り組みとして、様々な面からの採用アプローチと離職防止対策、並行して外国人材の安定的確保を行うこと」、「生産性向上委員会を柱として業務効率化を図り、限られた職員の中でも質の高いサービスを提供すること」に取り組んでまいります。

４月１日には13名の新規学卒者と7名の特定技能職員が私たちの仲間となります。外部環境が厳しい状況ですが、この難局を総合力で乗り切ってまいりましょう。

永年勤続表彰

法人では勤続10年以降、5年経過毎に永年勤続者として、職員表彰を行っております。今年は勤続25年11名、20年21名、15年38名、10年49名の合計119名の表彰を行いました。

式の中では永年勤続者を代表し、勤続25年の池内栄（看護介護部長）さんが謝辞を述べました。池内さんは学校栄養士としての経験と育児期間を経て、平成11年12月に栄養士として入職しました。そこから、事業所の管理者、第一種事業の施設長、地区の統括施設長と最前線で活躍し、現在も法人本部の看護介護部長として次世代の育成や幅広い知識と経験を活かし、多方面から法人を支えています。

謝辞の中では、「入職当時は翌年4月より開始の介護保険制度に対応する為、次々に建設される施設、事業所の開所、エリア拡大とともに大勢の職員希望者がいたと思い出を振り返りながら、多くの仲間達との出会いや資格を取得する毎、人生のターニングポイントと言えるきっかけをいただいた」と法人への感謝の言葉を述べました。



省エネ法の取り組み 事業者最高ランクのS評価

当法人の取り組みとして嬉しい評価をいただきましたので、ご紹介します。省エネ法に基づいた事業者クラス分け評価制度において、最高ランクのSランク評価となりました（2023年度実績）。一定規模以上の事業者（原油換算で1500ｋｌ/年以上のエネルギーを使用する）には、省エネや非化石転換等に関する取り組みの見直し・計画の策定を行う為、エネルギーの使用状況等について定期的に報告する義務が課されています。環境の変化とエネルギー危機が深刻化する中、効率的なエネルギー利用は世界中で取り組まなければならない課題です。

法人の主な取り組み

1. GHPエアコンへリモート監視機能を取り付けることで、空調管理を自動制御
2. 2027年度末までに段階的に廃止することが決定している一般照明用の蛍光ランプをLED照明へと変更
3. クールビズ期間の導入

高騰するエネルギー価格への対応も含み、CO_2削減や省エネへの取り組みを積極的に行っていること、何よりも役職員による日々節電等への協力がこの度の評価へとつながったと大変喜ばしいニュースとなりました。
今後も「環境にも優しい法人」を目指し、出来る事を検討してまいります。

日本財団 スポGOMIワールドカップ 長野県予選大会 敬老園チーム 優勝！



令和7年3月29日、長野市で開催されたスポGOMIワールドカップ長野県予選大会へ法人職員３名が参加し、優勝しました。スポGOMIとはスポーツの要素を取り入れたゴミ拾いで、生態系に影響を及ぼすプラスチックなどの「海洋ごみ」の削減活動促進を目指すプロジェクトとなります。

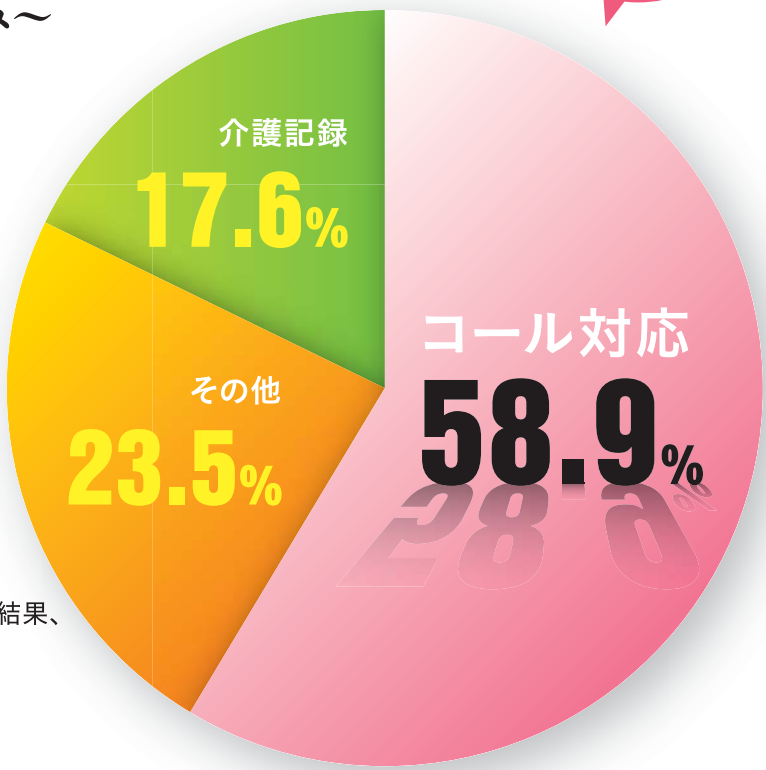
海洋ごみのほとんどは街から発生しています。海なし県である長野県においても、川や水路を通じ海へとごみが流出しており、私たち一人一人の意識や行動が良い方向にも悪い方向にも影響を及ぼしています。社会問題に対して積極的に取り組む職員がいることは誇らしく、法人全体で応援してまいります。

社会福祉法人敬老園チームは、令和7年9月に開催する全日本大会へ進出、その後の世界30カ国の代表が集う世界大会への出場を目指します。社会福祉法人敬老園チームの躍進にこうご期待！

変化する時代を的確にとらえて

～生産性向上への取り組み～

人材不足の中でも、利用者様へ質の高いサービスが提供できるように「生産性向上委員会」を軸とした業務効率化を進めており、現在法人で力を入れている取り組みの一つとなっております。前回に引き続き取り組みをご紹介いたします。



養護老人ホーム報恩寮の取り組み

報恩寮では、施設の課題見える化として課題把握のアンケート調査を職員へ行った結果、



◎職員が足りないことからコールが重なった際に、利用者様を待たせてしまう
◎PHSだと声でしか判断できない。
転倒の危険性がある方等は、状況が分かれば緊急性を判断しやすい…

といったコールに関する意見が挙げられました。

そこで、交換時期が到来していた電話設備の更新に合わせて、ナースコール設備の更新、Wi-Fi環境の構築によるコールシステムとスマホの連携、転倒等の危険性がある利用者様の居室へご本人とご家族同意の下で、居室内に見守りカメラが設置できる環境を構築しました。

設備としては、居室内のコールを利用者様が押すと職員が携帯しているスマホへ通知が届く従来のコールに加え、見守りカメラが居室にある方については、映像も合わせて確認することができます。また、コールへの対応状況を共有することが出来るため、コールが重なった際の職員間での連携としても使用が可能です。


スマホ



職員からは「PHSでのコール対応では、声でしか利用者様の状況が把握できず、少し離れた場所や別の利用者様の援助を行っている際も、まずは居室へと伺う必要があります。例え何事もなくても、状況が分からないので居室へ伺う必要がありました。設備導入後は（本当に必要な方だけですが）見守りカメラがあることで、利用者様の状況を確認しながらコールへの対応ができ、緊急性の判断がしやすくなります。緊急性がなければ、お声をかけさせていただいて、援助を行っている利用者様の対応を終えてから、コールがあった利用者様の居室へ伺うことも出来ます。結果として利用者様お一人お一人に丁寧な対応ができ、職員自身も行ったり来たりといった負担が減ると思います。」との話がありました。

今回ご紹介した報恩寮では、職員個々から挙げられた課題に対して、機器の導入により改善を図りました。今後は、期待する成果が得られたか振り返り、新たな課題が出れば都度検討していきます。

生産性向上委員会の目的である、「職員が働きやすい環境の構築により、職員が不足する中でも質の高い援助」が出来るように今後も活動を加速してまいります。

※見守りカメラについては、プライバシーに十分配慮した上で使用します。

◎転倒の危険性がある等、必要な方のみを対象とし、ご本人とご家族同意の下で、居室内へ設置させていただきます。

◎映像は利用者様本人からコールがあった際や危険察知のセンサーが反応した場合のみ確認できます。（応対時のみ確認が出来、職員側から居室内を見る事はできません）



解決策

◎ナースコール設備の更新
◎Wi-Fi環境の構築による
　コールシステムとスマホの連携
◎見守りカメラ※が設置できる環境
　転倒等の危険性がある利用者様の居室へ
　ご本人とご家族同意の下、設置

期待する効果



◎利用者様の安全確保
◎丁寧な対応による質の高い援助
◎職員の負担軽減



養護老人ホーム報恩寮

〒386-1102　長野県上田市上田原1050
TEL.0268-22-0882　FAX.0268-27-1161
◎E-mail:hoonryo@keiroen.or.jp
【事業概要】
養護老人ホーム　定員：100名
養護老人ホーム短期入所　定員：4名

「いつも美味しいよ」と言っていただけるように

しおがわ敬老園

敬老園では、栄養バランスのとれた、美味しくて安心・安全な食事提供ができるよう栄養部一同、献立作成から衛生管理・調理方法まで、日々更新しながら取り組んでいます。

私たち、しおがわ敬老園栄養課では、統一献立の中にも特色が出せるよう、利用者様からの聞き取り調査から、選択メニューや、誕生日希望献立など、個々の嗜好に合わせた取り組みを行っています。メニューを選ぶ楽しみ、特別な日に好きな物を食べる感動を提供できるよう栄養課一同、利用者様のために頑張っています。

年間を通し沢山の食事イベントがあります。笑顔で「いつも美味しいよ」と言っていただけるように、行事食から日頃の一食一食まで、これからも栄養課全員で力を合わせ日々努力してまいります。

しおがわ敬老園 栄養課 管理栄養士　小間澤 美幸





栄養課職員作業風景



今年5月に行った行事食 選択メニューをご紹介いたします。





5月11日 母の日献立

母の日は感謝の気持ちを込めて、特別な献立にしたい想いから毎年恒例となった釜めしメニューです。峠の釜めしをイメージした味付けと盛り付けは、今日は何の日だろう？と話の話題にもなります。たくさんのご家族様も面会に来られる中、食事が美味しいと喜んでいただけるように作りました。



5月15日 選択メニュー

日々の聞き取りや、嗜好調査から、人気メニューや、ご当地グルメなど取り入れ、見て食べて満足できる食事を目指し、栄養課職員一人一人が担当月を持ち、献立作成から当日の調理まで責任を持って取り組んでいます。

編集後記

言葉って難しい。
伝えるって難しい。
日本語って難しい。
そんなことを考えながら作ってます。（古田）